

焼津市歴史民俗資料館
Yaizu City Museum of History and Folklore

Museum Letter



資料館だより
113号

特集 焼津と徳川Ⅱ 「海蔵寺ものがたり—徳川と民に愛されて—」

「海蔵寺」についてインタビュー



▲ 学芸員 藁科 優生 (=藁)

藁：最初に、特別展のテーマにもさせていた
だいた、海蔵寺さんと徳川家のつながり
について教えてください。
浅：家康公の十男、徳川頼宣公(紀州徳川
家初代)が、駿府にいた際、ご本尊の
「延命地藏菩薩」に対して厚く信仰心を
持たれたといわれています。その後、頼
宣公は紀州(和歌山)へ国替えとなりま
すが、その際も、「海蔵寺」を紀州へ移
したいと打診した程です。それ以来、徳
川家の庇護を受けています。
また、家康公ゆかりの資料も残ってい
ますので、それ以前から徳川家とのつ
ながりはあったかと思っています。
藁：徳川家ゆかりの資料が残っているんです
ね？
浅：よく知られているのは、市の指定文化財
にもなっている紀州家から寄進された
厨子と兜地藏(守り本尊)、本尊厨子です。
また、家康公や頼宣公筆と伝わる墨画
もあります。この他にも紀州家ゆかりの



▲ ご住職 浅沼 成之 さん (=浅)

浅：最初は、特別展のテーマにもさせていた
だいた、海蔵寺さんと徳川家のつながり
について教えてください。
浅：家康公の十男、徳川頼宣公(紀州徳川
家初代)が、駿府にいた際、ご本尊の
「延命地藏菩薩」に対して厚く信仰心を
持たれたといわれています。その後、頼
宣公は紀州(和歌山)へ国替えとなりま
すが、その際も、「海蔵寺」を紀州へ移
したいと打診した程です。それ以来、徳
川家の庇護を受けています。
また、家康公ゆかりの資料も残ってい
ますので、それ以前から徳川家とのつ
ながりはあったかと思っています。
藁：徳川家ゆかりの資料が残っているんです
ね？
浅：よく知られているのは、市の指定文化財
にもなっている紀州家から寄進された
厨子と兜地藏(守り本尊)、本尊厨子です。
また、家康公や頼宣公筆と伝わる墨画
もあります。この他にも紀州家ゆかりの



るでは、毎年150枚ぐらい御札をお渡
します。
また、最近では、袋井の方がお寺を訪
ねてきてくれました。その方の地区でも、
小川のお地藏さんを昔から守ってきてく
れていて、縁日の際に、御札を授けまし
た。
今後は更にこうしたつながりを復活さ
せていきたいと考えており、自分も各地
の小川のお地藏さんをひとつずつ訪ねた
かと思っています。

品が寺宝として残ります。
収蔵庫の中には、完全に整理できてい
ないものもあります。今後も資料館と連
携して調査を進めていき、徳川家、紀州
家とのつながりを紐解いていけたらと考
えています。
また、こうした寺宝の一部は、7月の



▲ 海蔵寺の厨子 (焼津市指定文化財)

海蔵寺 海蔵寺 海蔵寺
あざぬま しげゆき
浅沼 成之 さん

焼津市歴史民俗資料館 学芸員
わらしな ゆうき
藁科 優生

特別展「海蔵寺ものがたり—徳川と民に愛されて—」開催にあたり、特別展を担当した、当館学芸員藁科優生が、海蔵寺のご住職浅沼成之さんにインタビュー。どんなお話が聞けたのでしょうか？

海蔵寺(焼津市東小川) 宗派は時宗。山号は寶城山。元々は「安養寺」というお寺でしたが、明応9年(1500)漁師の網にかかり海から引き上げられた地藏菩薩を本尊としたことから「海蔵寺」と寺名を改めました。各地に祀られている川除地藏の本尊として広く人々に信仰され、「小川のお地藏さん」とも呼ばれ親しまれています。また、徳川家から庇護を受けました。



▲ 相川の川除地藏 (焼津市相川)

からず、お寺に戻るのにも迷子になるほ
どでした。これまで、色々な方に助けて
いただいて、今は大変、住みやすいまち
だなと感じています。
平成11年からは、小川幼稚園の業務に
も携わるようになり、子どもたちと接す
ることで、少しずつ地域の親御さんとも

緑日で公開して、地域の皆さんにもご覧
いただいております。
藁：展示会のもう一つのテーマになっている
「小川地藏信仰」についても教えてください。
浅：当山の本尊は、海に縁のあるお地藏さん
ということで、川除けを中心とした水難
除けなどのお地藏さんとして焼津・志太
地域をはじめ、広く信仰されています。
大井川流域のほか、静岡平野の安倍川・
藁科川もよく氾濫しており、川除地藏と
して勧請(分霊)されたお地藏さんが、
今でも各地に残ります。

これだけ広く信仰された要因は、先程
お話ししたように徳川家、また、歴代田
中城主の本多家、西尾家など名だたるお
殿様が信仰するお地藏さんということ
で、すごいお地藏さんなんだろうとい
う噂も流れたといわれています。
藁：お地藏さんがお祀りされている地域とは、
今でもつながりがありますか？
浅：大井川地区のいくつかの川除地藏につ
いては、今でも毎年縁日には声をかけて
いただいております。お祭りに伺っています。
下江留の川除地藏では、7年に一度大祭
があり、その際には、地区内に白いサラ
シを張り巡らせます。これは他の地区で
はあまり聞かない、珍しいものです。
他にも、7月の当山の縁日前に、静
岡市内のいくつかの町内会(地藏講)の
方々が、帳面を持って参詣してくださ
るので、御札を授けています。大きなこ

◀ 次のページの上部へ

接する機会が増えました。また、地域の
催しものに顔を出すことも増え、地域と
の関わりが深くなったことが良かったこ
とだと思っています。今でも、子どもた
ちや保護者の方を通じて、毎日様々なこ
とを吸収できているかと思っています。
幼稚園は、開園から70数年経ちますが、
お地藏さんが毎日子どもたちを見守って
くれているおかげで、大きな怪我や事故
もなくやっています。こうした皆さんが
安心できる、地域の拠り所となっている
点も、お地藏さんが果たしている役割と
して大きいかなと日々感じています。

今も昔も、多くの方々に愛されている海蔵
寺さん。
ご住職、貴重なお時間をいただきありがと
うございました。
今回お話を伺った海蔵寺と徳川家とのつな
がり、信仰についてもっと知ることのできる
特別展を焼津市歴史民俗資料館で開催中
です。海蔵寺に伝わる宝物をぜひ、その目
でご覧ください。

海蔵寺ものがたり
焼津市歴史民俗資料館

会期:12月2日(土)~2月18日(日)
休館日:月曜日(祝日の場合翌平日)
入場無料

学芸員の推♡

Vol.3



今回の学芸員の推しを担当するのは：
2人のお子さんの子育てに奮闘中！
ママさん学芸員こと、細田学芸員。

「清水遺跡から見つかった**豎杵**」です

細田学芸員の推しは？

「考古学専攻ならではの推しですね！
では、推しについてお願いします！」

豎杵は焼津市**策牛**から藤枝市にかけて広がる清水遺跡から見つかりました。遺跡からは、弥生時代中期から後期（約2400〜1700年前）の建物跡、溝、川跡などが確認されています。川跡からは、建築材や農具などがたくさん出土し、当時の生活を知る貴重な資料となっています。

杵といえば、お餅つきでべったん

べったんと使う道具のイメージがあると思います。この時に使う横杵の方が、なじみがあるかもしれません。豎杵の方が古くからあり、米などの穀物を脱穀したり、豆などをつぶしたりするのに使いました。豎杵を使って脱穀する様子は弥生時代の銅鐸にも描かれ、江戸時代の農作業の様子を描いた絵図にも登場します。

木製品は朽ちやすく、遺跡から見つかることは土器に比べると少ないですが、焼津市内の遺跡は湿地にあることが多く、木製品が残りやすい環境です。2000年くらい前に使われていたものがそのままの形で残っているなんて興奮してしまいます。まるで貴重なタイムカプセルを開けた気持ちになります。そして、この道具、形を変えずに現在も使われているなんてすごいと思いませんか？

「確かに！言われてみれば！って感じですね。昔から形を変えないで今現在も使われている道具。すごいです！」

さて、次回はどんな「推し」が出てくるのかお楽しみに！



やまごんのお部屋



ひばち
今回はやまごんのお部屋にある**火鉢**を紹介するよ！

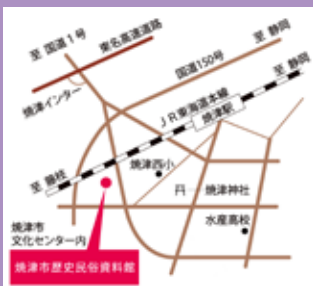
さいきん 最近、寒くなって来たね…やまごんのお部屋も冬支度をしたよ。
これは、「火鉢」といって灰を入れて炭火をおこして、手を温めたり、お湯をわかしたりする暖房器具なんだ！素材は陶器や木製、金属製のものが多いけど、珍しい石製のものもあるんだっ



て！大きさも数人がかりで動かす大名火鉢から、手あぶりっていわれる小さな火鉢まで様々で、手さげ火鉢もあるんだっ
て！火鉢は奈良時代に登場して、江戸時代から明治にかけて庶民にも広がって、昭和初期までは暖房用とともにお湯をわかしたりする道具としても使われていたんだよ！

やまごんのお部屋にあるのは「猫火鉢」って言って、これは今でいう湯たんぽみたいな使われ方もしたんだよ。

お布団めくめく♪



【発行・問合せ】

焼津市歴史民俗資料館

〒425-0071

静岡県焼津市三ヶ名1550

☎054-629-6847

【表紙写真】海蔵寺本堂（焼津市指定文化財）